

2年次 進路だより(冬休み号)

令和6年12月25日

北海道札幌英藍高等学校

1 冬季休業開始～自己伸長のチャンス

2年次生の皆さん、冬季休業(12/24[火]～1/16[木])が始まりました。皆さんには、見学旅行明けに進路別ガイダンスを通して学校生活の過ごし方や進路実現に向けた準備の必要性をお伝えしてきましたが、冬季休業期間は、これまで学習した内容(授業・スタサポ・総合学力テスト・総合的な探究の時間等)をしっかりと振り返り、知識を定着させて理解を深める絶好の機会です。特に積み重ね教科と言われる英語・数学の基礎力は、3年次になってから強力な武器となるものです。年明けからの時期は、次年度(以降)の準備をしっかりとすることで自己の学力伸長を図ることができ、3年次生を迎える前にいかに自己伸長を成し遂げるかが、進路実現への大きな鍵となります。また、英藍生の皆さんには自分でも気付いていない潜在的な力があるはず。その力は、目先の得手不得手・好き嫌いでは見つけにくいものであり、引き出すためにひたむきに取り組むことで実感できるものです。まだまだインフル・コロナ・風邪症状が流行っている時期なので、体調管理に気をつけて有意義な冬季休業を過ごしてください。

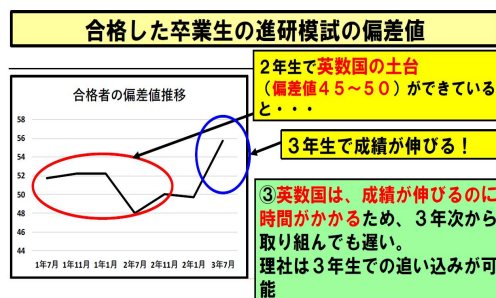
2 総合学力テストの意義とゼロ学期の過ごし方

年内入試(総合型選抜・学校推薦型選抜)を含めて、受験のある上級学校(大学・短大・看護)への進学には常に一般選抜に対応する学力が求められてきます。「やらなきゃいけないのはわかっているけど、やる気がしない」等のぼんやりとした気持ちでいる人が多いかもしれません。毎年受験期になってから必死に頑張る3年次生からは、「あの時から真剣に準備をしていれば…」という思いが常に伝わってきます。騙されたと思って構いませんので、今から英藍高校に入学してから学習した内容(場合によっては、中学時代の学習内容)をしっかりと振り返りつつ、1月18日(土)に実施される第3回総合学力テストに向けた準備をしてみましょう。

模擬試験は、スタディサポートと異なり、学習の見返りをあまり実感できない設定(平均点の設定が35点/100点満点)となっています。模試解答のコツは、1ページ目から順番に解くことではありません。問題冊子を開き、全問の概略を掌握してから確実に得点できそうな問題から解答することです。第1問から順番に解くと最後には時間が不足してしまうことになってしまいます。是非やってみましょう。加えて、「空欄をできるだけ作らない」ことです。国語の現代文や英語の記述解答では、何か書いておくことで、部分点がもらえる場合があります。何も書かない人は部分点は絶対にもらえないし、そういった受け方の人が模試の解き直しをしても、身につく度合いは低いものになります。

模擬試験の意義は、全国の中での受験生本人の位置を知ることができること、学習の弱点を知ることによって克服することができること、模試データを蓄積(模試受験の継続データ)することで学習成果や学習方法の改善する機会となること、2年次第2回総合学力テストから志望校判定を知ることができること、が挙げられます。

年明けから新年度までの期間をゼロ学期と呼びます。決して3月期だけを指しているわけではありません。ゼロ学期を有意義に過ごすか否かが3年次の受験準備に大きく影響します。例えば、休日も返上して一生懸命に部活に頑張る生徒は、多分春季大会・GW・高体連等の忙しい時を過ごし、7月には最後の学校祭を楽しみ夏季休業を迎えることになります。逆算してください。期間はあっても、学習時間を確保できる日は意外と少ないと思いませんか？大学入試では、これまでのガイダンス等でお伝えしたとおり、高校2年生終了までの学習内容をしっかりと身に付けていれば、合格できるように設定されています。この年明けゼロ学期に「できることを可能な限りやる」の精神で有意義に過ごし、来たるべき時に備えましょう。



3 新課程入試に向けた模試対応

新課程入試(現3年次生以降)の受験科目に「情報」が追加されたことにより、本校では、大学入学共通テスト対応の模擬試験を次のように実施することになりました。ご承知おください。

- (1) これまで、土曜日1日で実施していた大学入学共通テスト対応の模擬試験を前日金曜日放課後と翌土曜日の2日に分けて実施する。
- (2) 金曜日の放課後に実施する科目は60～80分科目のうち1科目とし、16:50までに終了する。

4 2年次の進路希望調査(結果)

前期末時点の2年次の進路希望調査結果は、次のとおりです。

<2年次>

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 国公立大学 | 25名(9.2%) |
| (2) 私立大学 | 128名(46.9%) |
| (3) 短大 | 5名(1.8%) |
| (4) 看護 | 11名(4.0%) |
| (5) 専門学校 | 73名(26.7%) |
| (6) 公務員 | 13名(4.8%) |
| (7) 民間就職 | 3名(1.1%) |
| (8) 進学未定 | 10名(3.7%) |
| (9) 完全未定 | 3名(1.1%) |
| (10) その他 | 2名(0.7%) |

9 よくある勘違い



入試問題は授業での教科書が中心となる

【入試問題の出題構成】

基礎問題=40～50%
応用問題=20～30%
難問=20～30%

©Benesse Corporation

※完全未定の方は焦る必要はありませんが、納得のいく進路実現のためにゼロ学期で就職(民間・公務員)や進学(学校・受験方式・受験科目等)について調べましょう。決まらないうちは、進学に対応する学習を心掛けることが大切です。

5 こんなことが求められていました

昨年度の札幌圏で人気のある大学の総合型選抜では、しっかり課題図書を消化して自分の考えや意見をまとめる等の準備をしなければ対応することが難しいと思われることが課されていました。2つの事例を紹介します。

- (1) SDGsの観点から新時代のビジネスについて高校生の観点で考える
- (2) 近未来に必ず起こる7つの大変化について

上記のような総合型選抜(プレゼンテーション・小論文・口頭試問等)に限られた期間でしっかりと対応することが求められています。年内入試(総合型選抜・学校推薦型選抜)が加速的に増加している傾向を踏まえると「総合的な探究の時間」での取組(調べ学習・講話等)の記録をしっかり残し、自分の言葉で生き活きと説明できるように準備をしていくことが大切です。